

後期学校評価アンケート 結果

4 (そう思う) 3 (少し思う) 2 (あまり思わない) 1 (まったく思わない)

No.	質問項目(簡略化)	児童生徒		保護者		教職員		平均	
		7月	12月	7月	12月	7月	12月	7月	12月
家庭・地域連携	1 家庭への情報発信	3.8		3.9	3.8	3.9	4.0	3.9	3.9
	2 学校評価による改善	3.3		3.8	3.7	4.0	3.8	3.7	3.8
	3 学校・家庭・地域の考えの共有	3.3		3.5	3.5	3.8	3.5	3.5	3.5
確かな学力	4 学力向上に向けた授業改善	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.5	3.7	3.7
	5 興味・関心を高める授業の工夫	3.6	3.6	3.8	3.8	3.8	3.9	3.7	3.8
	6 家での学習の習慣化	3.4	3.2	3.6	3.8	3.5	3.6	3.5	3.5
豊かな心	7 体験活動による豊かな心の醸成	3.7	3.6	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.7
	8 子どもの道徳性の育成	3.6	3.7	3.5	3.4	3.8	3.5	3.6	3.5
	9 子どもの自主性の育成	3.8	3.8	3.8	3.7	3.6	3.2	3.7	3.6
	10 命を大切にす指導	3.6	3.8	3.7	3.5	3.9	3.8	3.7	3.7
健やかな体	11 安全指導の充実	3.6	3.8	3.8	3.6	3.8	3.8	3.7	3.7
	12 子どもの体力の育成	3.7	3.8	3.6	3.5	3.6	3.5	3.6	3.6
	13 望ましい生活習慣の醸成	3.5	3.2	3.5	3.7	3.4	3.5	3.5	3.5

2学期末に実施させていただいた今年度2回目の学校評価アンケート結果をお知らせいたします。4段階評価ですので3.0以上が概ね良好となりますが、3.5以上を良好ととらえ緑で表示し、逆に3.0を下回るものを早急な課題としてとらえています。その中で、1回目から2回目にかけての数値の変化から課題として捉えられる項目を橙で示しています。

「家での学習の習慣化(児童生徒 3.4→3.2)」に向けては、子どもたちが自主的に学習に取り

組むことができ、保護者や学校が適切にサポートできる仕組みを整えることが重要です。小学校3年生以上で家庭学習計画表を活用しながら、家庭学習の計画を自分でたてる習慣を身に付けさせていきます。「子どもの自主性の育成(教職員 3.6→3.2)」に向けては、子どもたちが自ら考え、選択し、行動する機会を増やし、そのプロセスを支援する環境を整えることが重要です。自主性を育てることができるのは学校生活のどの場面かという視点で、教育活動全体を見直して参ります。また、「望ましい生活習慣の醸成(児童生徒 3.5→3.2)」に向けては、健康問題を自分事としてとらえ、主体的に改善していく姿勢が求められます。目的意識の明確化や達成可能な目標を設定するなど、学校活動の中でも働きかけていきたいと思ひます。

【自由記述欄(保護者)】

○子供1人1人のペースにあわせて工夫をしたり、時にはマンツーマンで教えてもらっていてとても有り難いです。

○個々の状況、能力に合わせて親身に対応して頂きありがたい。

→子どもたちが学びに向かう意欲を保ちながら、それぞれの個性や成長段階に寄り添うことを大切にしています。今後もさらに工夫を重ね、子どもたち一人ひとりが安心して学べる環境を整えるよう努めてまいります。

○いつも子どもたちのために様々な工夫をしていただき、感謝しています。

→子どもたち一人ひとりが安心して学校生活を送るとともに、自らの可能性を伸ばせるよう、日々の教育活動に工夫を凝らし、全力で取り組んでおります。これからも、子どもたちの成長と笑顔のために、創意工夫を重ねながら取り組んでまいります。

○忙しい時間の中を割いて保護者との時間を作り、子供がイヤにならないように試行錯誤して保護者とのやりとりもしてくれて本当に有り難いです。

→保護者の皆さまと連携しながら、子どもたちの成長を支えていくことが、学校としての大切な役割だと考えています。その取り組みを評価していただいたことを、とても嬉しく思います。今後もさらに、保護者の皆さまとの信頼関係を大切にし、引き続き協力していけるよう取り組んでまいります。

○スケート少年団が今年から親に一任になりましたが、もう少し学校側にも力を入れて頂きたい。それこそ、地域、学校、親でやるべき事だと思う。

→スケート少年団の運営に関しましては、昨年度の保護者会で話し合いを重ねた上で、保護者の皆様に一任する形で進めることを合意いただきました。しかしながら、その後も学校として何が出来るかを考え、今年度はスケートが得意な教諭が指導者として関わり、子どもたちの活動を支えるよう努めております。また、現在、町全体で部活動や少年団の地域移行が進みつつあり、今後は地域・学校・保護者が連携しながら運営を進めていく必要性が高まってくると考えております。次年度以降におきましては、さらにご理解とご協力をお願いする場面が増えることが予想されますが、子どもたちにとってより良い活動環境を整えるために、学校としても引き続きできる限りの支援を行ってまいります。